

平成30年度予算見積調書

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B67	野生動物レスキュー事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律		宣言項目			
					分野施策	051247 生物多様性の保全		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>傷病野生鳥獣の野生復帰を目指した治療・リハビリ等を通じて、生物多様性の保全及び県民の野生動物保護思想の啓発を図る。</p> <p>また、野鳥の死亡原因調査の実施により、県民の安全・安心な生活を確保する。</p> <p>(1) 傷病野生鳥獣保護治療事業 6,005千円 (2) 傷病野生鳥獣保護ボランティア事業 3千円 (3) 傷病野生鳥獣保護ネットワーク整備事業 132千円 (4) 野鳥の死亡原因調査 351千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 傷病野生鳥獣保護治療事業(通年) 6,005千円 保護された傷病野生鳥獣を民間獣医師に委託し保護治療を行う。</p> <p>イ 傷病野生鳥獣保護ボランティア事業(通年) 3千円 治療後の野生復帰に向けてリハビリ等を行う傷病野生鳥獣保護ボランティアの育成・支援を行う。</p> <p>ウ 傷病野生鳥獣保護ネットワーク整備事業(通年) 132千円 大型の傷病野生鳥獣の搬送等について、市町村及び県とのネットワーク化を図る。</p> <p>エ 野鳥の死亡原因調査(通年) 351千円 野鳥の不審死発生時に、環境科学国際センターで野鳥の死亡原因となる農薬等の化学物質の分析を行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 民間獣医師、保護ボランティア及び関係機関の連携により傷病野生鳥獣の保護を行う。(傷病野生鳥獣保護治療事業、傷病野生鳥獣保護ボランティア事業、傷病野生鳥獣保護ネットワーク整備事業)</p> <p>イ 野鳥の不審死発生時に野鳥の死亡原因調査を行う。(野鳥の死亡原因調査)</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 野生復帰率の向上、生物多様性の保全、県民の鳥獣保護思想の啓発及び行政サービスの向上を図ることができる。保護件数 平成26年度：818件、平成27年度：717件、平成28年度：771件</p> <p>イ 野鳥の死亡事例に迅速に対応し注意喚起を図ることで、県民の安全・安心な生活を確保を図ることができる。検査件数 平成26年度：24件、平成27年度：7件、平成28年度：39件</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 林野行政費(細目) 鳥獣行政費 (細節) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	6,491						6,491	19
前年額	6,472						6,472	